

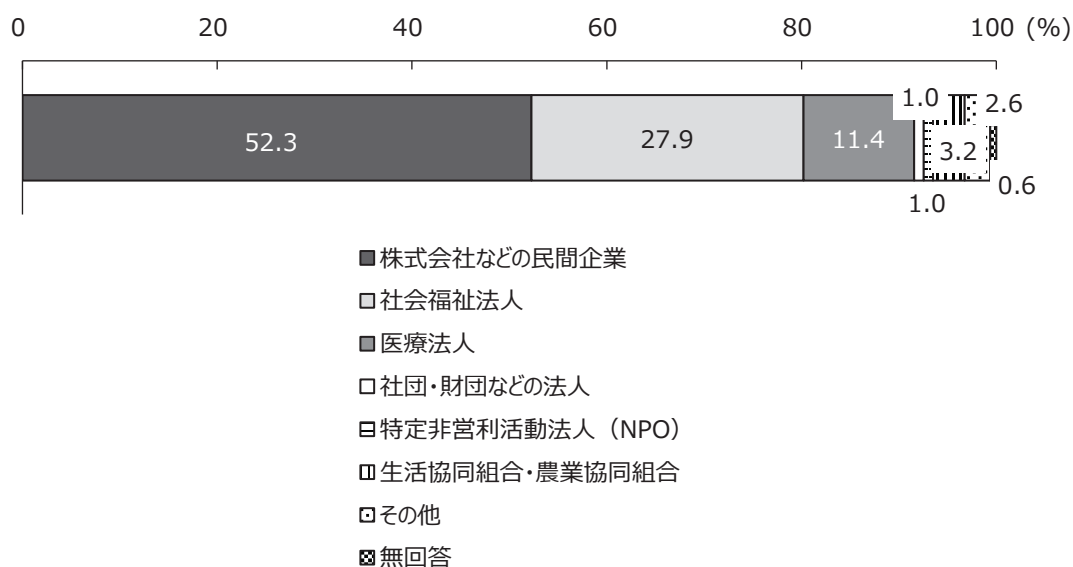
## 第7章 介護事業者（事業所）調査

### 1 事業所について

#### (1) 組織形態

n=308

「株式会社などの民間企業」が 52.3%と最も高く、次いで「社会福祉法人」(27.9%)、「医療法人」(11.4%) となっています。



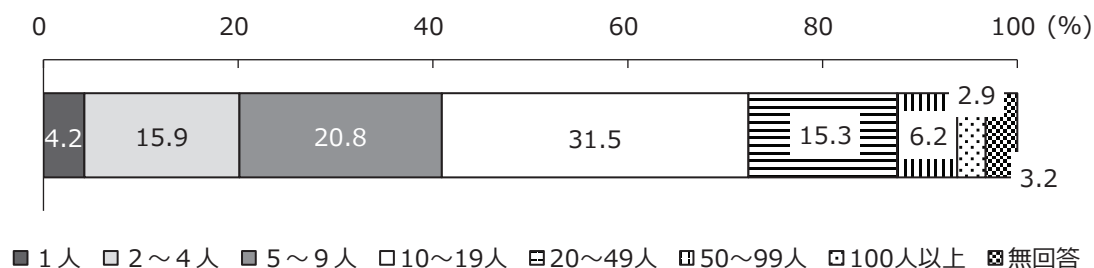
#### (2) 介護保険サービスに従事する従業員数

\*令和7年10月1日時点

\*事務職員等を含めて直接雇用している人数を教えてください。また非常勤職員も、1人として換算してください。

n=308

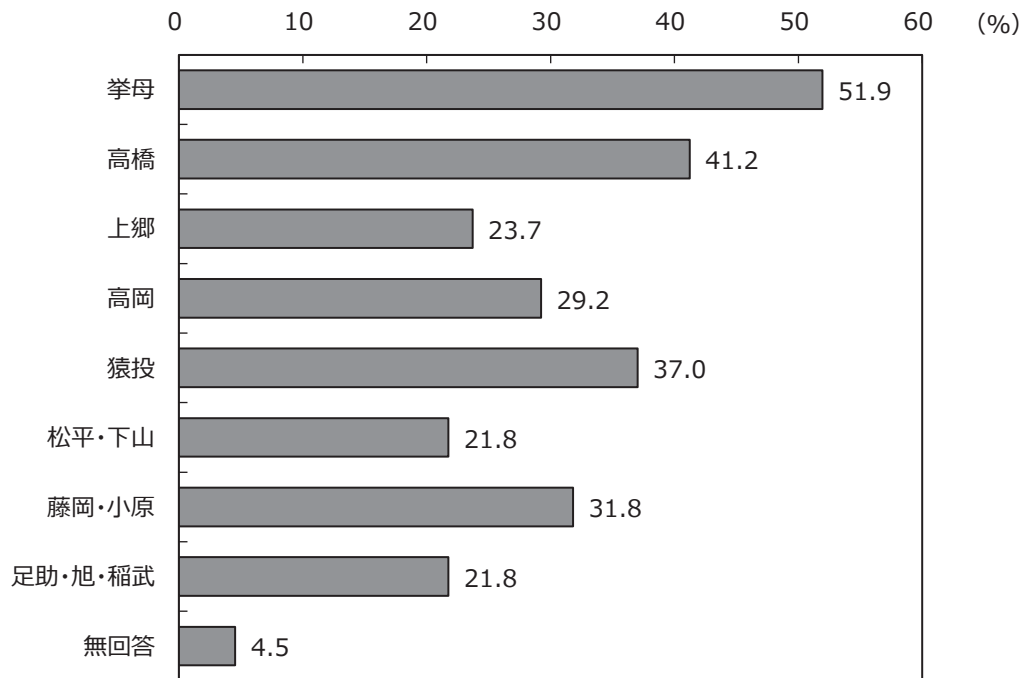
「10～19人」が 31.5%と最も高く、次いで「5～9人」(20.8%)、「2～4人」(15.9%) となっています。



(3) 事業所がサービスを提供している地域

n=308

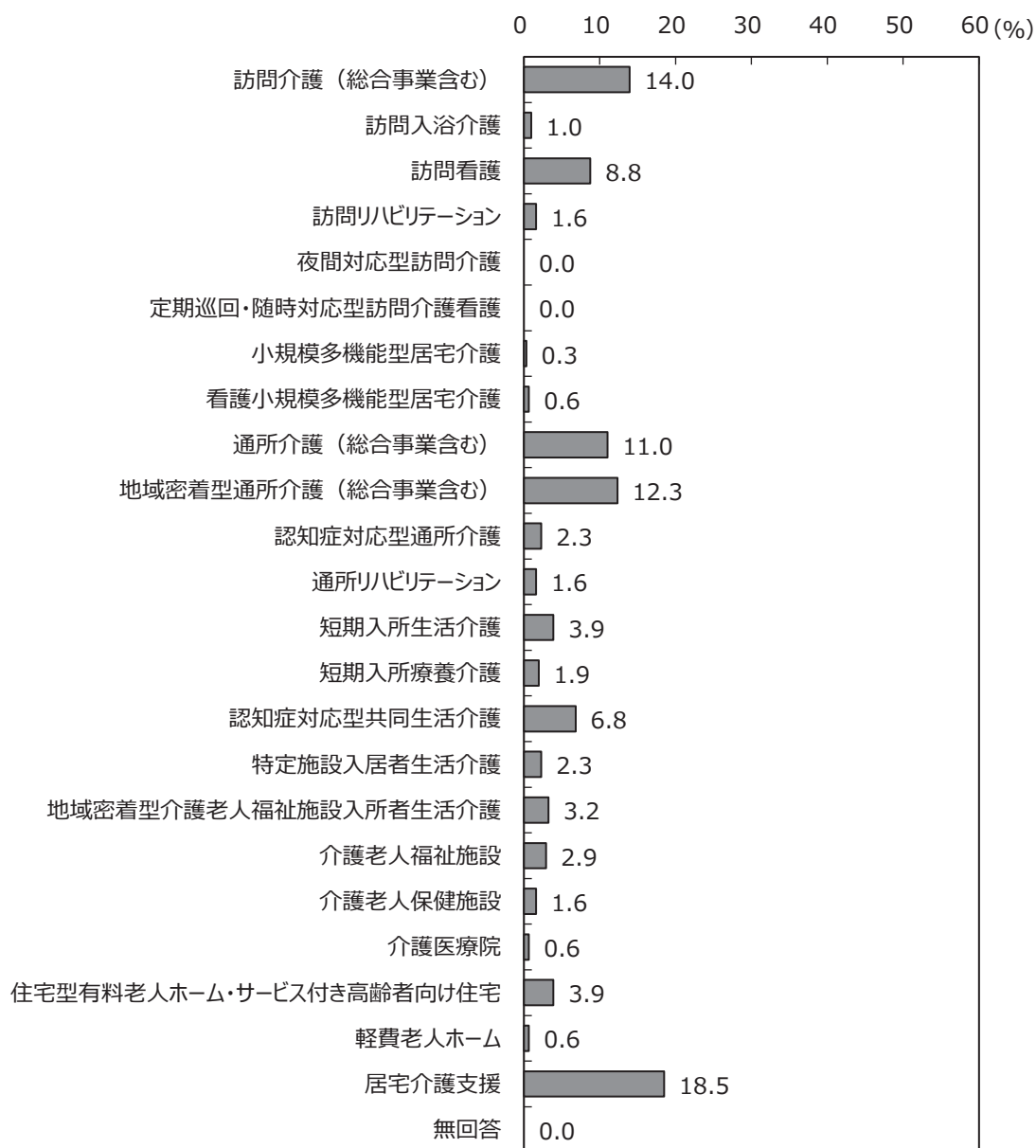
「拳母」(51.9%)、「高橋」(41.2%)、「猿投」(37.0%) の順に高くなっています。



(4) 事業所が提供しているサービス等

n=308

「居宅介護支援」(18.5%)、「訪問介護（総合事業含む）」(14.0%)、「地域密着型通所介護（総合事業含む）」(12.3%)、「通所介護（総合事業含む）」(11.0%)、「訪問看護」(8.8%)の順に高くなっています。



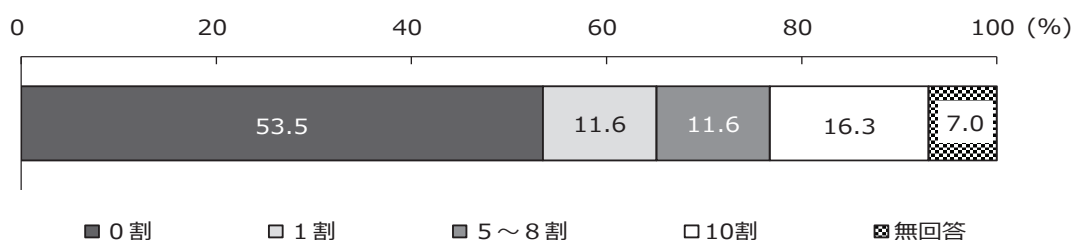
## 2 訪問介護の提供状況について

### (1) 住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の割合

■ 訪問介護サービスにおける、「住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」の割合についてお教えてください。(0～10の整数を記入してください。)

訪問介護事業者 n=43

「0割」が53.5%と最も高く、次いで「10割」が16.3%と高くなっています。



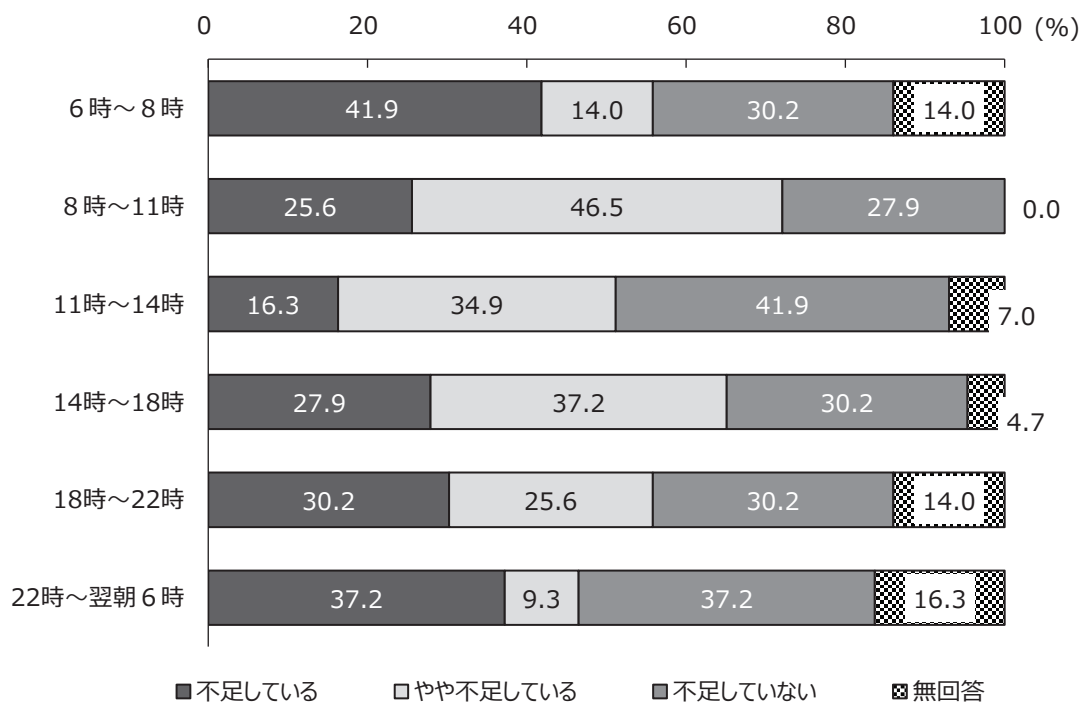
\* 2～4割、9割の回答はみられませんでした。

### (2) 時間帯別の不足状況

■ ヘルパーの不足状況を時間帯別にお教えてください。(A～Fそれぞれ1つに○)

訪問介護事業者 n=43

「不足している」をみると、「6～8時」が41.9%と最も高く、次いで「23時～翌朝6時」が37.2%となっています。



### 3 事業所の運営について

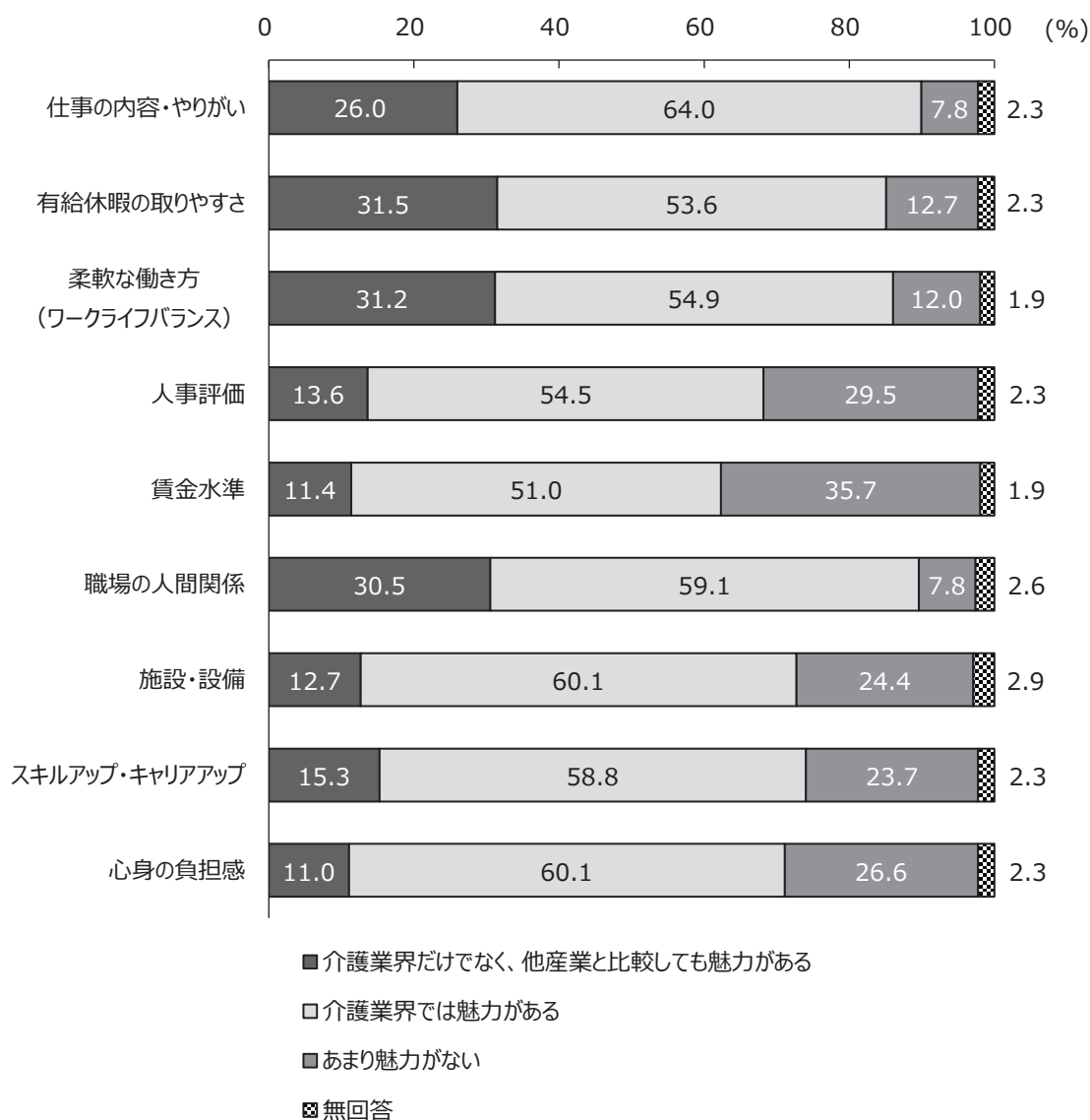
#### (1) 職場環境の魅力

■ 貴事業所の職場環境は、魅力があると思いますか。（A～I それぞれ1つに○）

n=308

「介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある」をみると、「仕事の内容・やりがい」（26.0%）、「有給休暇の取りやすさ」（31.5%）、「柔軟な働き方（ワークライフバランス）」（31.2%）、「職場の人間関係」（30.5%）で他の項目と比べて高くなっています。

一方、「あまり魅力がない」は、「人事評価」（29.5%）、「賃金水準」（35.7%）等で他の項目と比べて高くなっています。



「介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある」の割合を業種別で見ると、施設系は「仕事の内容・やりがい」「柔軟な働き方（ワークライフバランス）」の割合が他と比べて低くなっています。離職率別では、5%未満で「仕事の内容・やりがい」「有給休暇の取りやすさ」「柔軟な働き方（ワークライフバランス）」「職場の人間関係」の割合が他と比べて高くなっています。

【「介護業界だけでなく、他産業と比較しても魅力がある」の割合】

単位：%

		n	仕事の内容・やりがい	有給休暇の取りやすさ	柔軟な働き方（ワークライフバランス）	人事評価	賃金水準	職場の人間関係	施設・設備	リスクアップ・アップ・キャ	心身の負担感
業種	訪問系	78	30.8	24.4	37.2	16.7	19.2	37.2	14.1	19.2	14.1
	通所系	87	28.7	36.8	32.2	12.6	8.0	34.5	11.5	12.6	13.8
	居住・短期入所系	60	23.3	28.3	30.0	10.0	10.0	23.3	10.0	21.7	8.3
	施設系	26	15.4	23.1	15.4	19.2	11.5	19.2	11.5	15.4	3.8
	居宅介護支援	57	22.8	40.4	29.8	12.3	7.0	28.1	15.8	7.0	8.8
離職率	5%未満	42	38.1	45.2	38.1	19.0	16.7	45.2	7.1	14.3	14.3
	5～10%未満	31	25.8	29.0	22.6	9.7	9.7	19.4	9.7	12.9	9.7
	10～20%未満	58	19.0	27.6	32.8	12.1	6.9	29.3	6.9	19.0	12.1
	20%以上	50	22.0	24.0	20.0	12.0	2.0	24.0	10.0	14.0	8.0

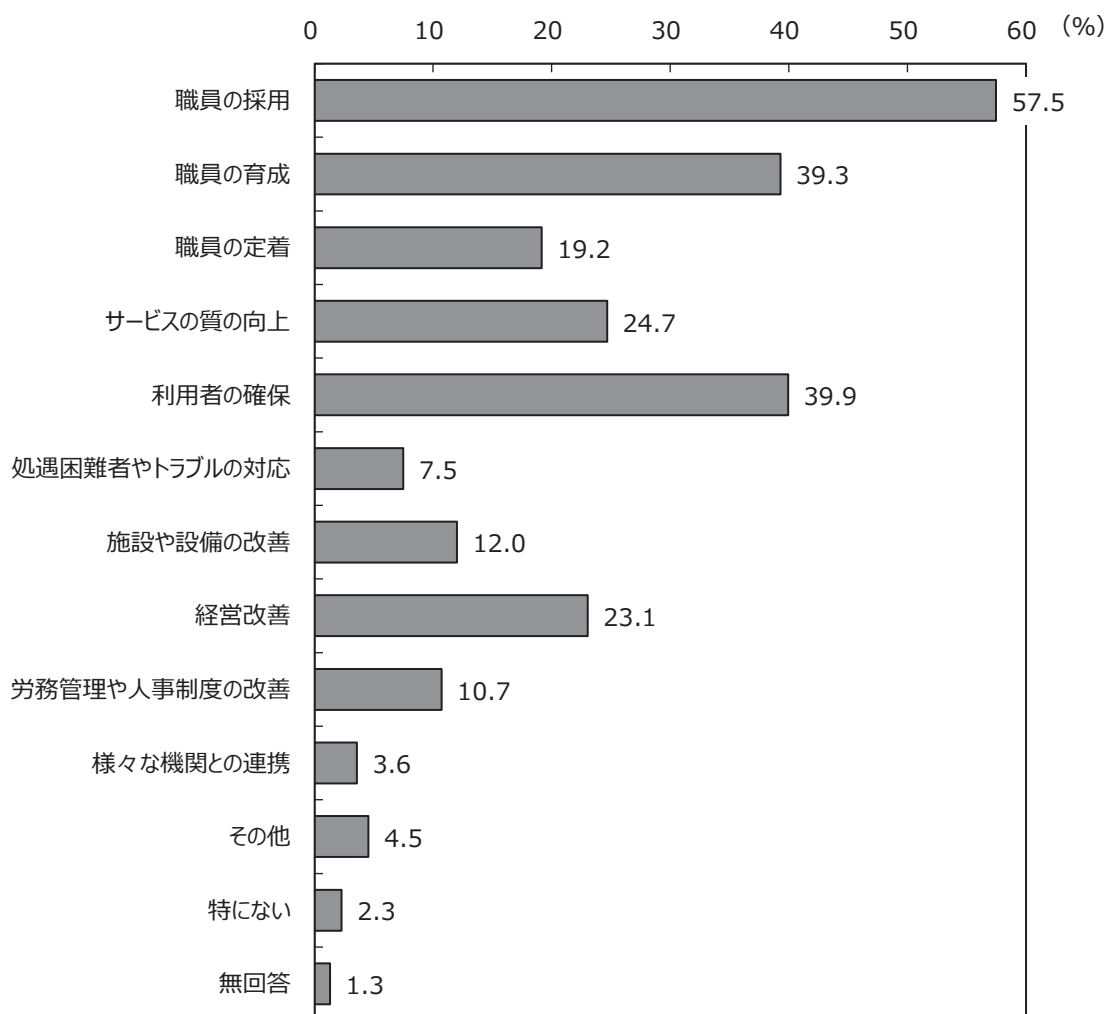
## (2) 事業所運営の課題

- 貴事業所の運営にあたり、特にどのようなことが課題となっていますか。  
(○は3つまで)

n=308

「職員の採用」が57.5%と最も高く、次いで「利用者の確保」(39.9%)、「職員の育成」(39.3%)、「サービスの質の向上」(24.7%)、「経営改善」(23.1%)の順に高くなっています。

業種別でみると、居住・短期入所系、施設系は「職員の採用」、居宅介護支援は「利用者の確保」の割合が最も高くなっています。また、施設系は「サービスの質の向上」「経営改善」の割合が他と比べて高くなっています。離職率別でも、全てで「職員の採用」の割合が最も高くなっています。



単位：％

		n	職員の採用	職員の育成	職員の定着	向上サービスの質の	利用者の確保	ラ処遇の難者やト	善施設や設備の改	経営改善	制度の改善や人事	連携な機関との
業種	訪問系	78	57.7	39.7	25.6	20.5	38.5	3.8	5.1	21.8	7.7	3.8
	通所系	87	59.8	42.5	17.2	26.4	44.8	5.7	17.2	24.1	9.2	4.6
	居住・短期入所系	60	68.3	36.7	20.0	31.7	25.0	6.7	15.0	23.3	10.0	0.0
	施設系	26	80.8	26.9	26.9	53.8	42.3	0.0	23.1	38.5	11.5	3.8
	居宅介護支援	57	31.6	42.1	8.8	7.0	49.1	19.3	5.3	15.8	17.5	5.3
離職率	5%未満	42	54.8	33.3	2.4	26.2	38.1	7.1	23.8	38.1	14.3	0.0
	5～10%未満	31	74.2	45.2	22.6	51.6	25.8	3.2	9.7	25.8	9.7	0.0
	10～20%未満	58	67.2	41.4	17.2	39.7	37.9	3.4	22.4	13.8	10.3	3.4
	20%以上	50	76.0	48.0	46.0	18.0	38.0	4.0	8.0	34.0	6.0	0.0

単位：％

		n	その他	特 に ない	無 回 答
業種	訪問系	78	2.6	2.6	1.3
	通所系	87	1.1	0.0	0.0
	居住・短期入所系	60	8.3	1.7	5.0
	施設系	26	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	57	10.5	7.0	0.0
離職率	5%未満	42	0.0	0.0	0.0
	5～10%未満	31	3.2	0.0	0.0
	10～20%未満	58	0.0	0.0	1.7
	20%以上	50	6.0	0.0	0.0

## 4 人材の確保・職場定着について

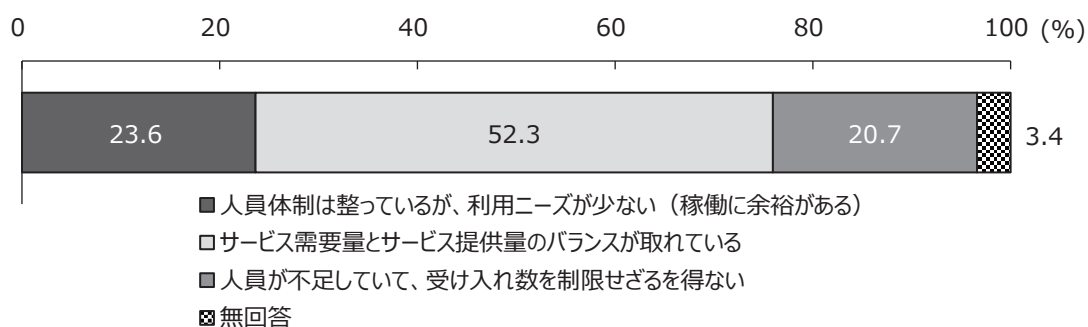
### (1) 事業所の稼働状況

■ 現在の貴事業所の稼働状況はいかがですか。（○は1つ）

居宅・軽費・有料・サ高住除く n=237

「人員が不足していて、受け入れ数を制限せざるを得ない」が20.7%、「人員体制は整っているが、利用ニーズが少ない（稼働に余裕がある）」が23.6%となっています。

業種別・離職率別でみると、訪問系で「人員が不足していて、受入数を制限せざるを得ない」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	人員体制は整っているが、利用ニーズが少ない（稼働に余裕がある）	サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている	人員が不足していて、受け入れ数を制限せざるを得ない	無回答
業種	訪問系	78	23.1	41.0	33.3	2.6
	通所系	87	31.0	46.0	18.4	4.6
	居住・短期入所系	46	15.2	73.9	6.5	4.3
	施設系	26	15.4	69.2	15.4	0.0
離職率	5%未満	40	25.0	62.5	10.0	2.5
	5～10%未満	30	23.3	66.7	10.0	0.0
	10～20%未満	57	19.3	57.9	22.8	0.0
	20%以上	47	21.3	36.2	31.9	10.6

(2) 必要な介護職員数

- 現状の貴事業所の人員に追加で何名採用できるとサービス需要と供給のバランスがとれると思いますか。(数字を記入)

居宅・軽費・有料・サ高住除く n=237

必要な介護職員数(推計)は、介護職員 162 人、看護職員 57 人、その他職員 15 人です。

	推計人数*	(回答数)
介護職員	162 人	99 人
看護職員	57 人	35 人
その他職員	15 人	9 人

\*回答数を回答率で割り戻しています。

(3) 人材確保について豊田市に期待するサポート

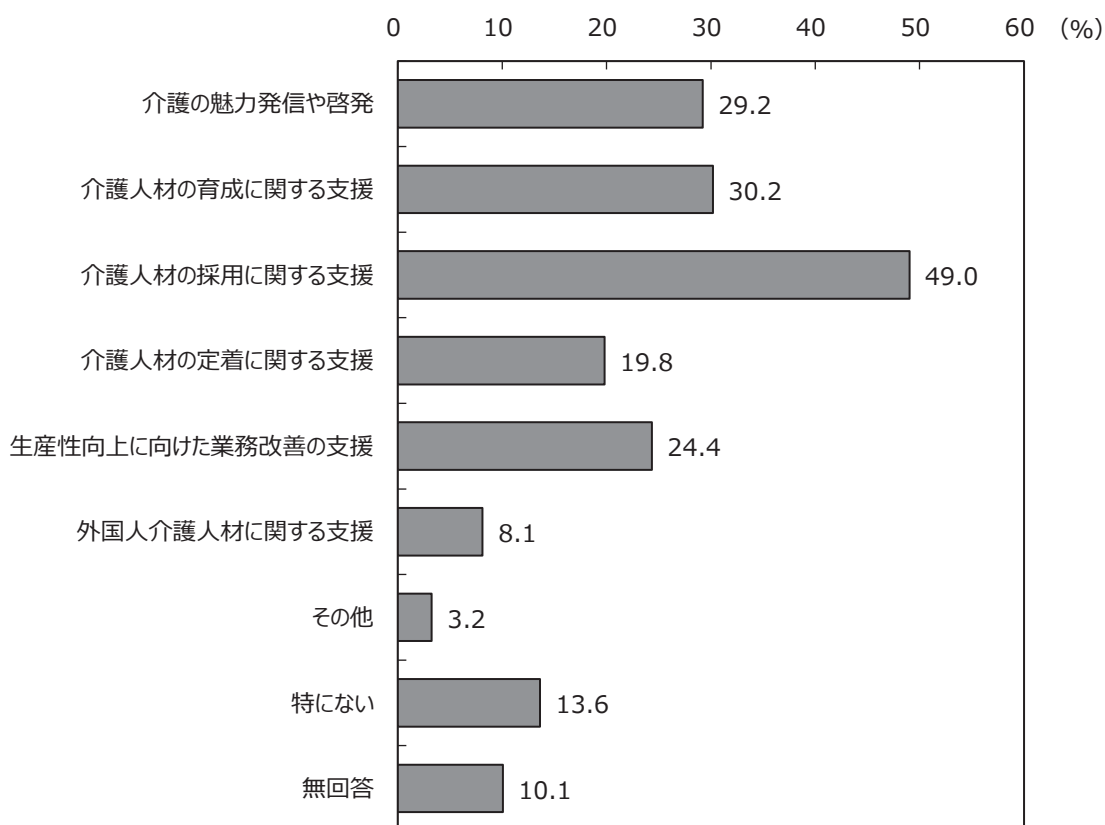
■ 人材確保に関して豊田市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。  
 (○は3つまで)

n=308

「介護人材の採用に関する支援」が49.0%と最も高く、次いで「介護人材の育成に関する支援」(30.2%)、「介護の魅力発信や啓発」(29.2%)となっています。

業種別でみると、居宅介護支援を除く全てで「介護人材の採用に関する支援」の割合が最も高くなっています。また、施設系で「外国人介護人材に関する支援」の割合が他と比べて高くなっています。

離職率別では、離職率が高い事業所で「介護人材の採用に関する支援」、低い事業所で「介護の魅力発信や啓発」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：％

		n	啓介 護の 魅力 発信 や	関介 する 人材 の 育成 に	関介 する 人材 の 採用 に	関介 する 人材 の 定着 に	た生 業産 務性 改善 向上 の 支向 援け	関外 する 人介 援護 人材 に	そ の 他	特 に な い	無 回 答
業 種	訪問系	78	30.8	25.6	44.9	20.5	24.4	2.6	7.7	14.1	7.7
	通所系	87	35.6	33.3	57.5	17.2	23.0	5.7	1.1	8.0	10.3
	居住・短期入所系	60	28.3	38.3	65.0	23.3	25.0	13.3	0.0	5.0	8.3
	施設系	26	26.9	34.6	69.2	30.8	30.8	34.6	0.0	11.5	0.0
	居宅介護支援	57	19.3	21.1	15.8	14.0	22.8	1.8	5.3	31.6	19.3
離 職 率	5%未満	42	40.5	33.3	47.6	9.5	28.6	7.1	2.4	9.5	11.9
	5～10%未満	31	48.4	32.3	48.4	25.8	25.8	16.1	0.0	3.2	6.5
	10～20%未満	58	24.1	37.9	60.3	25.9	24.1	8.6	1.7	17.2	3.4
	20%以上	50	32.0	36.0	68.0	24.0	26.0	16.0	8.0	4.0	8.0

### ○自由回答

- ・介護の仕事の魅力を体験できる仕組み
- ・求職者に対するマッチングや紹介
- ・山間部への人材紹介サポートをしていただけるとありがたいです。
- ・人材派遣会社を通さないと集まらず、採用報酬を払うのがとても負担です。一部補助やハローワークなど、市からのバックアップが欲しいです。
- ・特に若い世代が働きたいくらい賃金が上がるとよい。
- ・賃金アップについての支援等
- ・外国人材に対する介護の知識や技術、日本語の上達への支援
- ・人材育成については、訪問看護のような育成センターがあり、とりまとめて集中して育成してくれる機関や機会があるとありがたいです。生産性向上関係は県の補助金がありますが、年々対象となるもの、要件が厳しくなっているため、柔軟に対応してくれる補助金があるとありがたいです。(ICT以外のものも可とか)
- ・若い方はケアマネジャーになりたくないという方が増えています。ご家族が働いている為、時間外での面談が増えたり、クレーム的なご家族が多くなっている事も影響しているかもしれません。
- ・ICT化運用体制を構築できるIT人材（アドバイザー）の支援。具体的なアドバイスができる人材の派遣
- ・職場環境、福利厚生、研修補助、市内での研修の充実

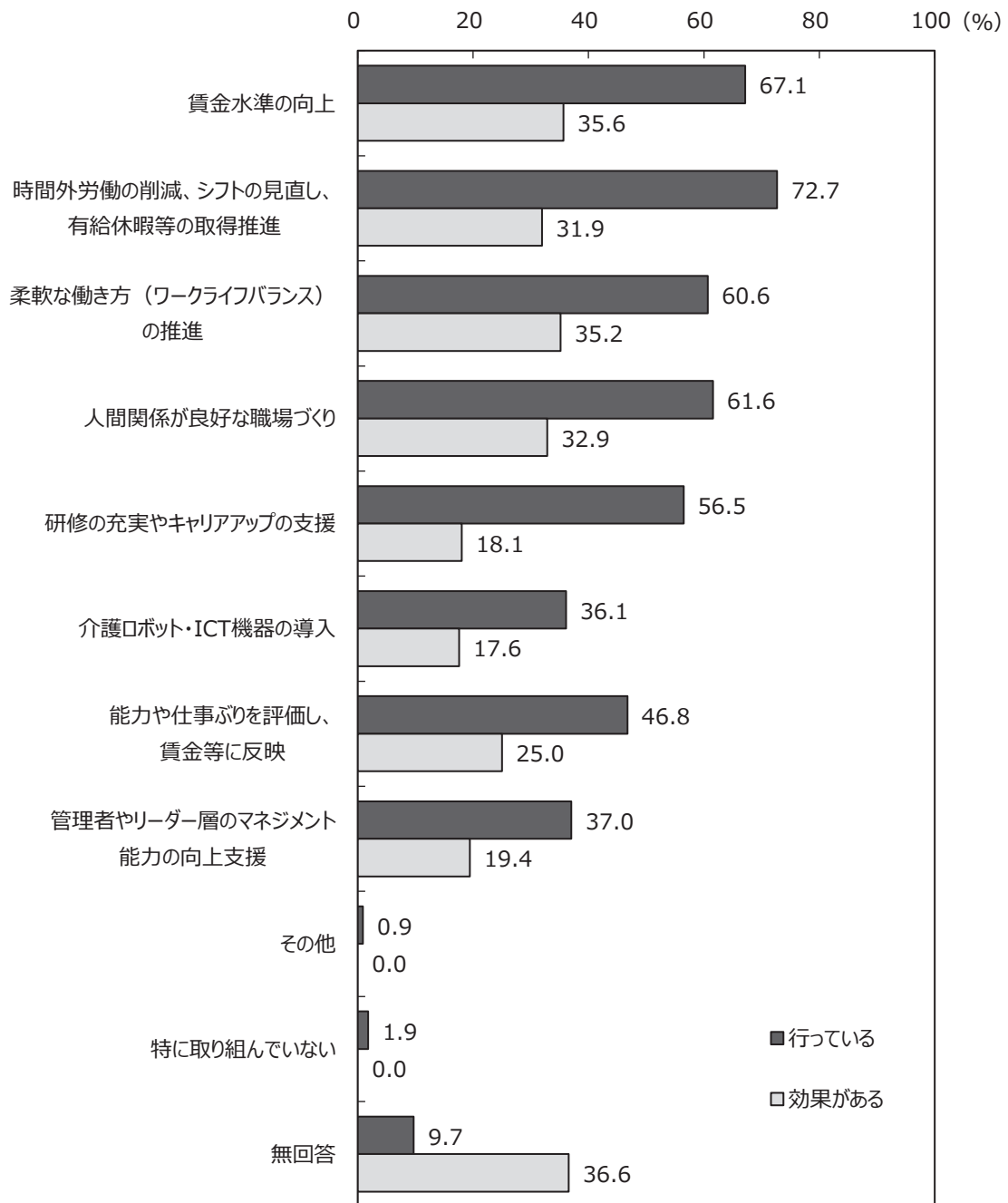
(4) 介護職員の職場定着の取組

- 介護職員の定着のために、どのようなことを行っていますか。また、どのようなことに効果を感じますか。（あてはまるものすべてに○）

介護職員配置の事業所 n=216

行っていることについて、「時間外労働の削減、シフトの見直し、有給休暇等の取得推進」(72.7%)、「賃金水準の向上」(67.1%)、「人間関係が良好な職場づくり」(61.6%)、「柔軟な働き方(ワークライフバランス)の推進」(60.6%)の順に高くなっています。

効果を感じることもについても、これらの項目が上位となっています。



【介護職員の定着のために行っていること】

単位：%

		n	賃金水準の向上	直時、外有給、休日の削減、シフトの推進の見	柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進	人間関係が良好な職場づくり	研修の充実やキャリアアップの支援	介護ロボット・ICT機器の導入	能力や仕事ぶりを評価し、賃金に反映	管理者やリーダー層のマネジメント能力の向上支援	その他
業種	訪問系	47	63.8	70.2	68.1	53.2	51.1	10.6	38.3	27.7	0.0
	通所系	82	74.4	75.6	63.4	65.9	54.9	34.1	45.1	32.9	0.0
	居住・短期入所系	56	67.9	76.8	57.1	64.3	62.5	44.6	51.8	42.9	1.8
	施設系	26	57.7	69.2	53.8	65.4	65.4	73.1	65.4	61.5	3.8
	居宅介護支援	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
離職率	5%未満	42	69.0	76.2	64.3	57.1	52.4	33.3	42.9	33.3	2.4
	5～10%未満	31	74.2	77.4	61.3	74.2	64.5	38.7	45.2	45.2	3.2
	10～20%未満	58	69.0	77.6	67.2	70.7	65.5	44.8	58.6	46.6	0.0
	20%以上	50	52.0	70.0	50.0	58.0	58.0	40.0	44.0	30.0	0.0

単位：%

		n	特に取り組んでいない	無回答
業種	訪問系	47	2.1	10.6
	通所系	82	1.2	9.8
	居住・短期入所系	56	0.0	3.6
	施設系	26	3.8	11.5
	居宅介護支援	5	20.0	60.0
離職率	5%未満	42	2.4	9.5
	5～10%未満	31	0.0	0.0
	10～20%未満	58	3.4	5.2
	20%以上	50	2.0	14.0

【介護職員の定着に効果があること】

単位：%

		n	賃金水準の向上	直時、外有給休暇等の取得推進の見	柔軟な働き方（ワークライフバランス）の推進	人間関係が良好な職場づくり	研修の充実やキャリアアップの支援	介護ロボット・ICT機器の導入	能力や仕事ぶりを評価し、賃金等に反映	管理者やリーダー層のマネジメント能力の向上支援	その他
業種	訪問系	47	25.5	25.5	29.8	25.5	12.8	10.6	21.3	17.0	0.0
	通所系	82	30.5	28.0	35.4	24.4	14.6	18.3	20.7	12.2	0.0
	居住・短期入所系	56	46.4	39.3	42.9	44.6	25.0	17.9	33.9	28.6	0.0
	施設系	26	53.8	46.2	34.6	53.8	26.9	30.8	30.8	30.8	0.0
	居宅介護支援	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
離職率	5%未満	42	26.2	23.8	31.0	26.2	11.9	19.0	14.3	9.5	0.0
	5～10%未満	31	45.2	41.9	32.3	35.5	19.4	19.4	32.3	12.9	0.0
	10～20%未満	58	37.9	41.4	41.4	43.1	22.4	22.4	32.8	25.9	0.0
	20%以上	50	42.0	32.0	42.0	30.0	22.0	20.0	30.0	30.0	0.0

単位：%

		n	特に取り組んでいない	無回答
業種	訪問系	47	0.0	51.1
	通所系	82	0.0	41.5
	居住・短期入所系	56	0.0	21.4
	施設系	26	0.0	15.4
	居宅介護支援	5	0.0	100.0
離職率	5%未満	42	0.0	42.9
	5～10%未満	31	0.0	25.8
	10～20%未満	58	0.0	31.0
	20%以上	50	0.0	28.0

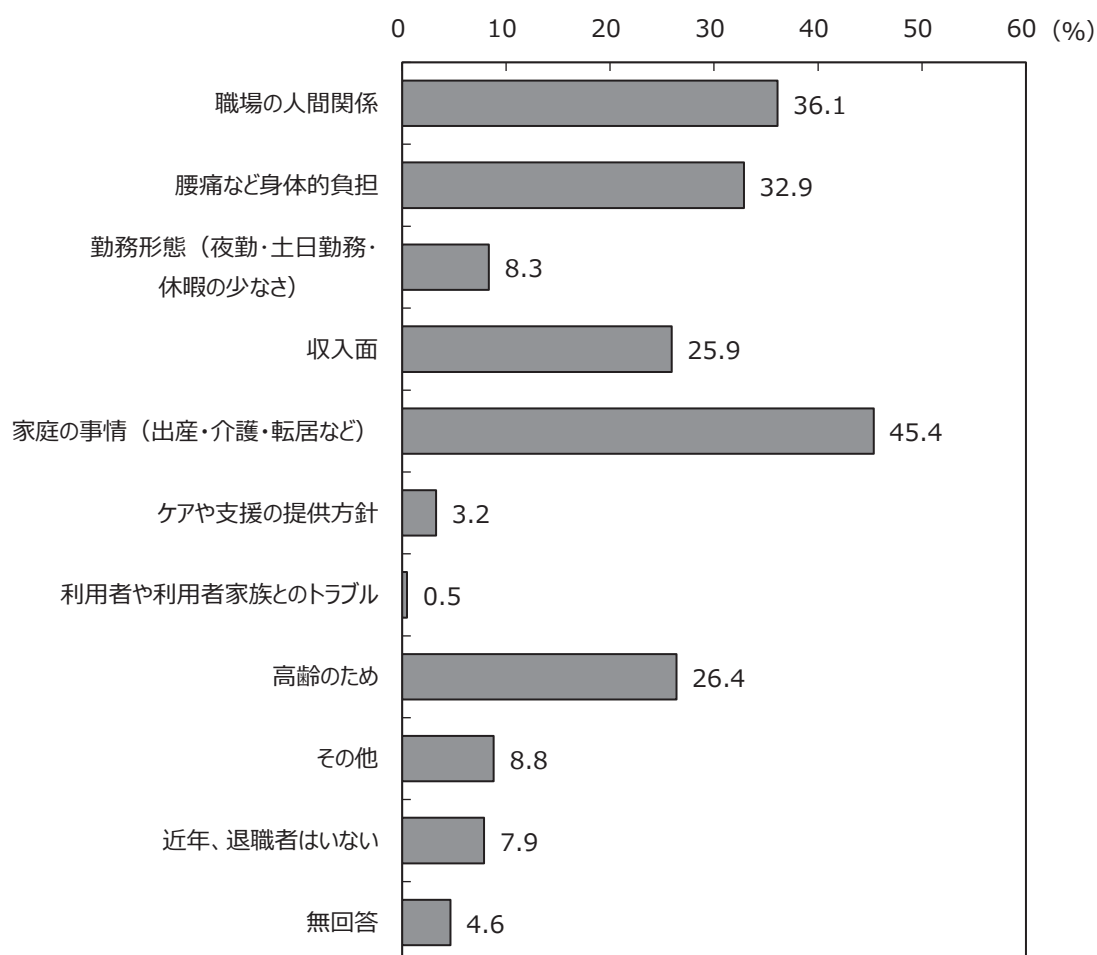
(5) 介護職員の離職事由

■ 貴事業所における介護職員の離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。  
 (○は3つまで)

介護職員配置の事業所 n=216

「家庭の事情（出産・介護・転居など）」が45.4%と最も高く、次いで「職場の人間関係」(36.1%)、「腰痛など身体的負担」(32.9%)、「高齢のため」(26.4%)、「収入面」(25.9%)の順に高くなっています。

業種別でみると、施設系で「職場の人間関係」「腰痛など身体的負担」「収入面」の割合が他と比べて高くなっています。



単位：%

		n	職場の人間関係	腰痛など身体的負担	勤務形態（夜勤・土日・休暇の少なさ）	収入面	家庭の事情（出産・介護・転居など）	ケアや支援の提供方針	の利用者や利用者家族とのトラブル	高齢のため	その他
業種	訪問系	47	34.0	40.4	2.1	25.5	40.4	2.1	0.0	34.0	10.6
	通所系	82	26.8	23.2	6.1	20.7	46.3	6.1	1.2	17.1	11.0
	居住・短期入所系	56	46.4	37.5	12.5	28.6	48.2	0.0	0.0	30.4	7.1
	施設系	26	53.8	46.2	19.2	42.3	53.8	3.8	0.0	38.5	3.8
	居宅介護支援	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
離職率	5%未満	42	31.0	33.3	2.4	23.8	54.8	2.4	0.0	21.4	4.8
	5～10%未満	31	38.7	45.2	3.2	35.5	54.8	0.0	0.0	25.8	3.2
	10～20%未満	58	41.4	36.2	10.3	29.3	50.0	3.4	0.0	34.5	6.9
	20%以上	50	48.0	30.0	18.0	22.0	50.0	2.0	0.0	26.0	10.0

単位：%

		n	近年、退職者はいない	無回答
業種	訪問系	47	6.4	4.3
	通所系	82	8.5	7.3
	居住・短期入所系	56	5.4	1.8
	施設系	26	0.0	0.0
	居宅介護支援	5	80.0	20.0
離職率	5%未満	42	19.0	2.4
	5～10%未満	31	3.2	3.2
	10～20%未満	58	0.0	1.7
	20%以上	50	0.0	6.0

(6) 介護職員の人数

■ 介護職員の人数を、ご記入ください。(数字を記入)

\*令和7年10月1日時点

\*前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

\*「うち外国人職員数」には、EPA、技能実習、特定技能、在留資格「介護」により勤務している人数をご記入ください。

介護職員数（推計）について、総数は5,848人で、うち常勤職員が2,808人、非常勤職員が2,755人です。

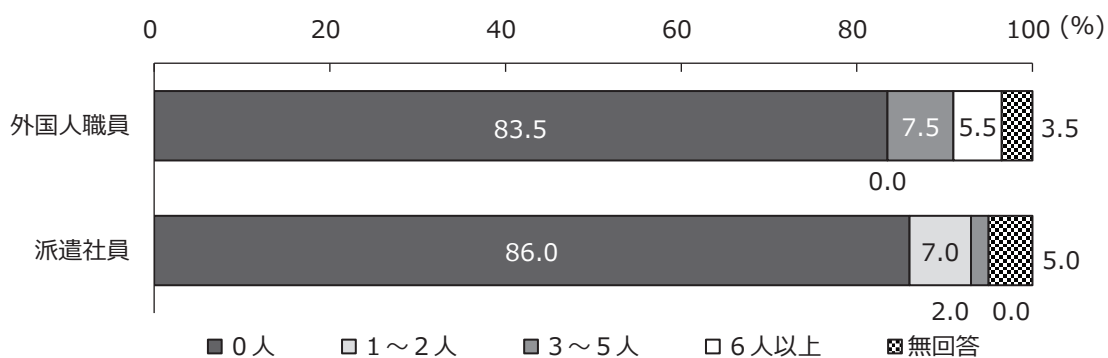
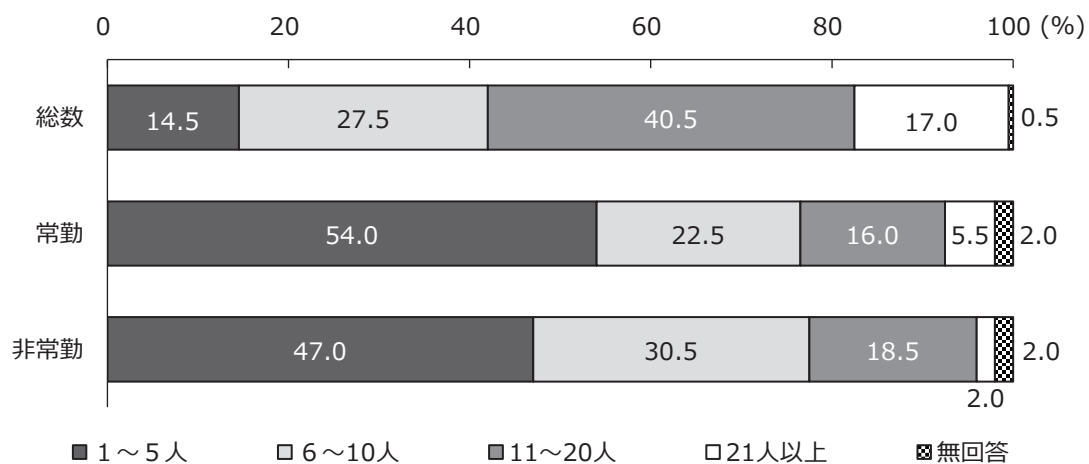
事業所別では「11～20人」が40.5%と最も高く、次いで「6～10人」が27.5%となっています。また、外国人職員が勤務する事業所は13.0%、派遣社員は9.0%となっています。

	推計人数*	(合計人数)
総数	5,848人	2,972人 (n=199)
常勤職員	2,808人	1,426人 (n=196)
非常勤職員	2,755人	1,399人 (n=196)
内訳不明	285人	147人 (n=199)
外国人職員	265人	162人 (n=193)
派遣職員	54人	33人 (n=190)

\*回答人数を基に、回答率が100%であった場合を推計しています（回答率は、nをアンケート配布した事業所386（居宅・軽費・有料・サ高住を除く）で除した値）。

\*nは介護職員配置の事業所（居宅・軽費・有料・サ高住除く）の回答数

【事業所別の職員数】

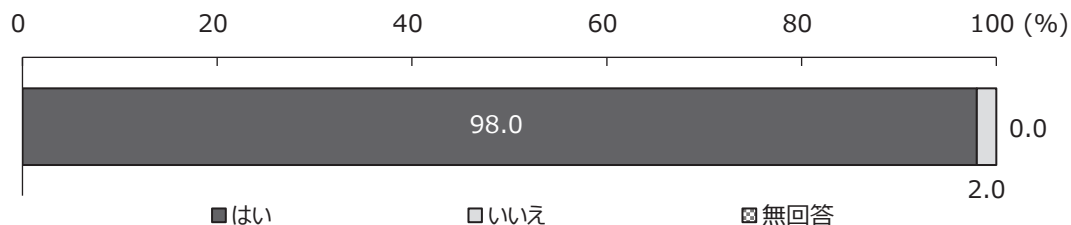


(7) 開設期間

■ 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。(1つに○)

介護職員配置の事業所（居宅・軽費・有料・サ高住除く） n=200

「はい」が98.0%、「いいえ」が2.0%となっています。



(8) 介護職員の採用者数・離職者数

■ 過去1年間の「介護」職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。(数字を記入)

\*令和6年10月1日～令和7年9月30日の1年間

\*外国人職員（すべての在留資格）も含めてご回答ください。

令和6年10月1日～令和7年9月30日の採用者数は384人、離職者数は384人、離職率は13.0%となっています。

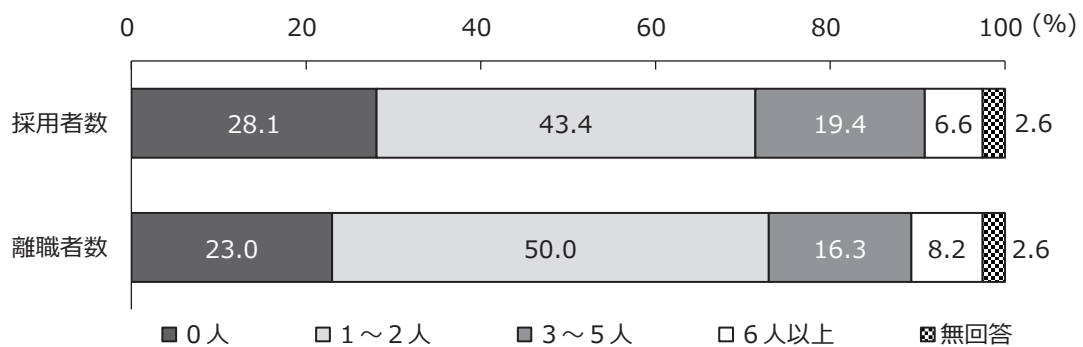
事業所別にみると、採用者数は「1～2人」(43.4%)、離職者数は「1～2人」(50.0%)、離職率は「10～20%未満」(32.8%)が最も高くなっています。

【回答データ（開設から1年以上の事業所対象、無回答を除く、n=191）】

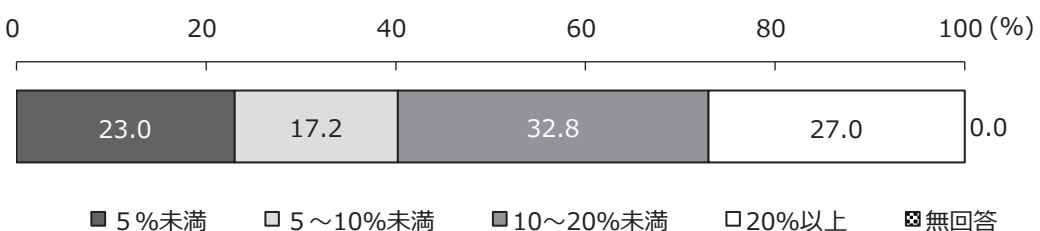
	介護職員数 (令和6年試算)	採用者数	離職者数	離職率
総数	2,943人	384人	384人	13.0%
常勤職員	1,406人	183人	178人	12.7%
非常勤職員	1,390人	201人	206人	14.8%
内訳不明	147人	-	-	-

\*介護職員数は、令和7年10月1日時点の開設から1年以上の事業所の介護職員数から採用者数を加え、離職者数を減じて算出

【事業所別の採用者数・離職者数（開設から1年以上の事業所対象、n=196）】



【事業所別の離職率\* (n=174)】



\*事業所別の集計は、介護職員数が5人以上で、各年の従業員数、離職者数のデータが全てそろった事業者を対象にしています。

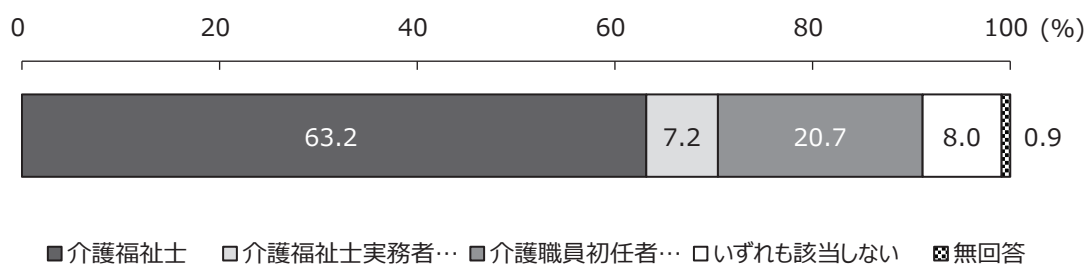
## 5 介護人材の状況について

■ 貴事業所に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

### (1) 資格の取得、研修の修了状況

n=2,414

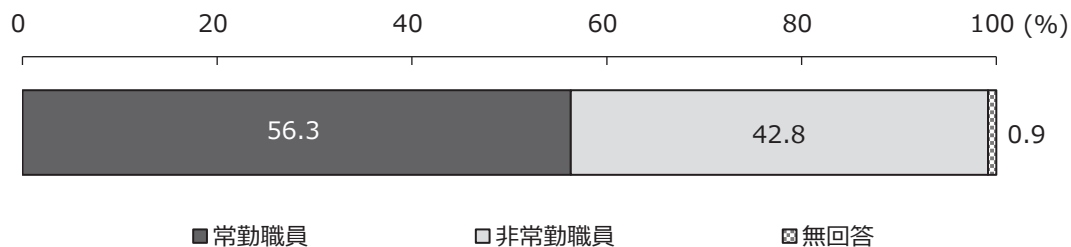
「介護福祉士」が 63.2%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了等」が 20.7%となっています。



### (2) 雇用形態

n=2,414

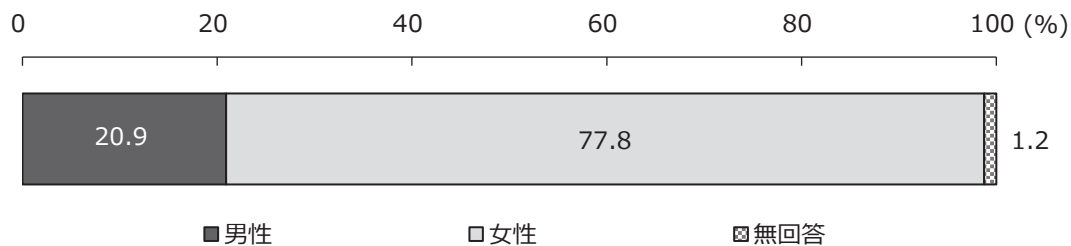
「常勤職員」が 56.3%、「非常勤職員」が 42.8%となっています。



### (3) 性別

n=2,414

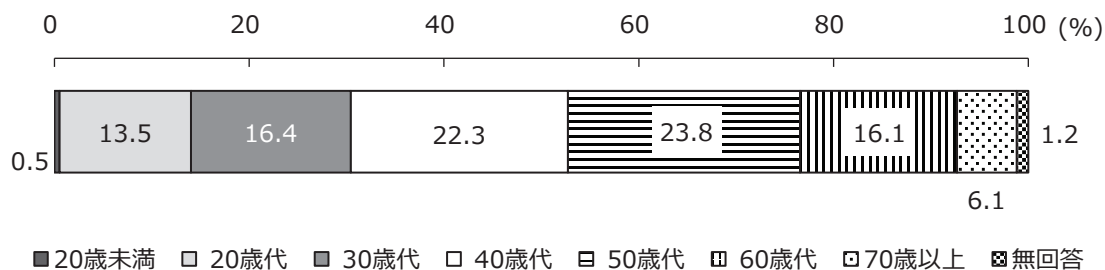
「女性」が 77.8%、「男性」が 20.9%となっています。



(4) 年齢

n=2,414

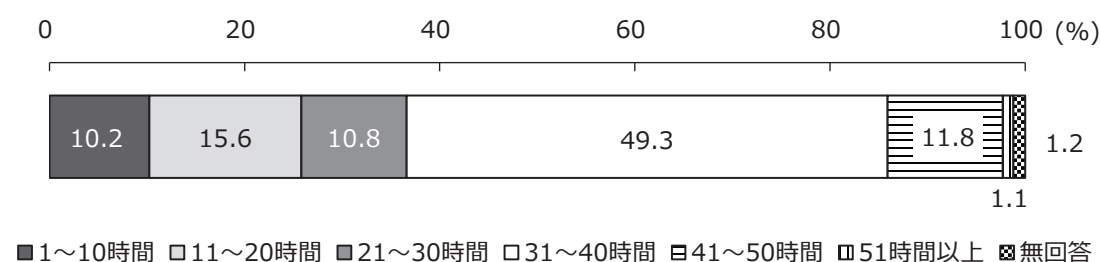
「50歳代」(23.8%)、「40歳代」(22.3%)の割合が比較的高くなっています。



(5) 過去1週間の勤務時間

n=2,414

「31~40時間」が49.3%と最も高く、次いで「11~20時間」が15.6%となっています。



(6) 現在の事業所での勤務年数

n=2,414

「1年以上」が84.8%、「1年未満」が11.1%となっています。

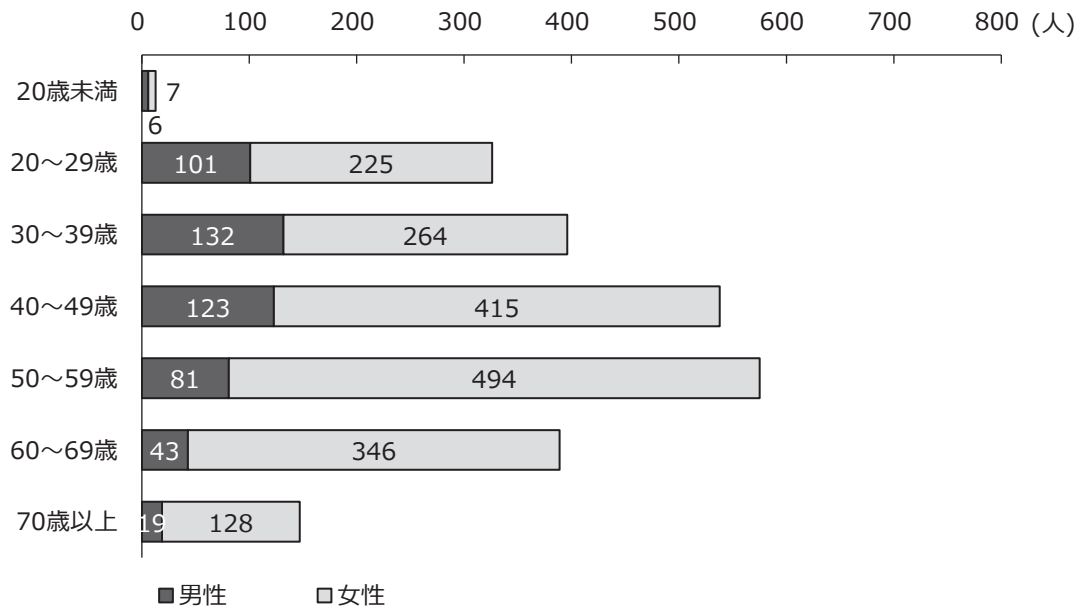


(7) 介護職員数

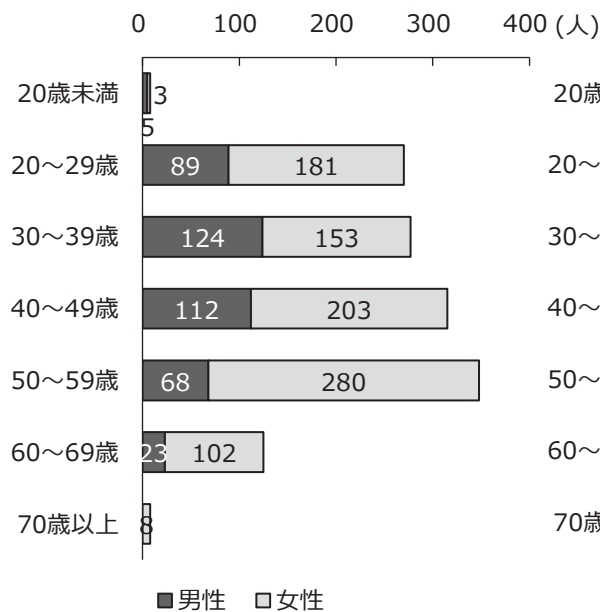
n=2,414

性年齢別で見ると、50～59 歳が最も多く、次いで 40～49 歳となっています。男性のほとんどは常勤で、非常勤は 40～69 歳の女性が特に多くなっています。

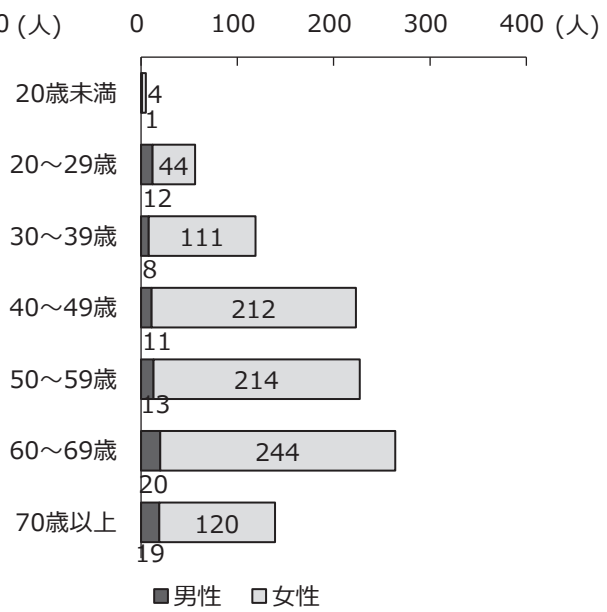
【性年齢別の介護職員数】



(常勤)

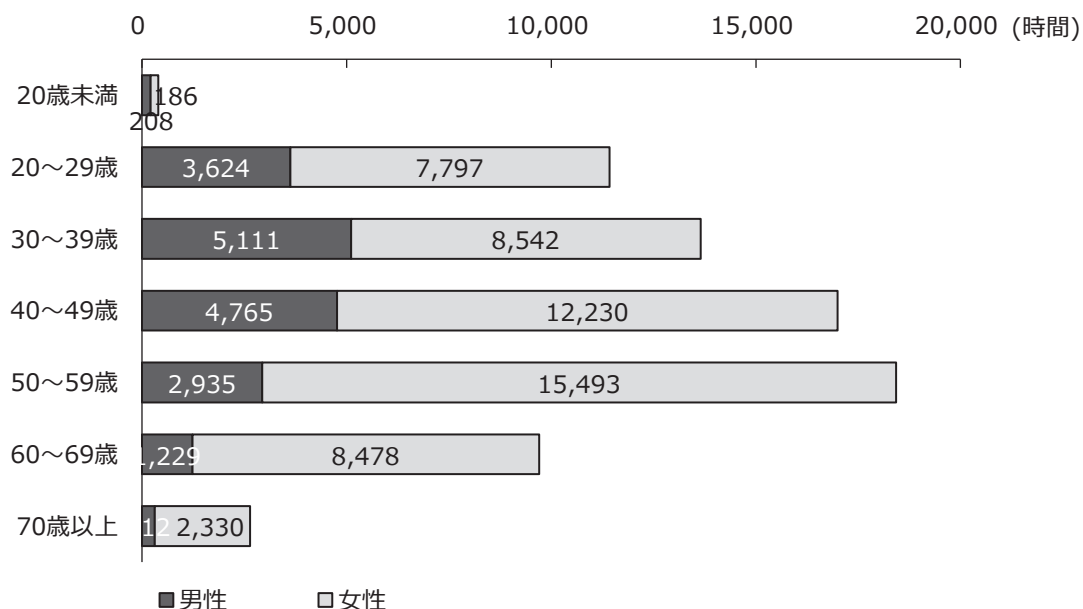


(非常勤)

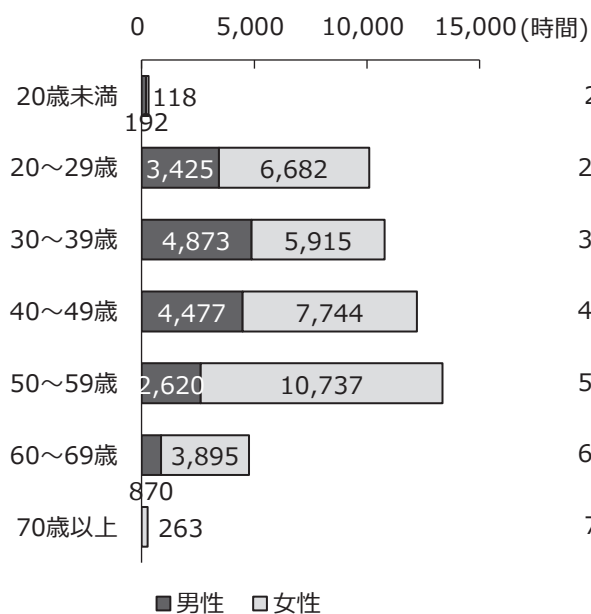


1週間の勤務時間も、性年齢別と同様の傾向となっています。常勤と非常勤を比べると、常勤の割合が高くなっています。

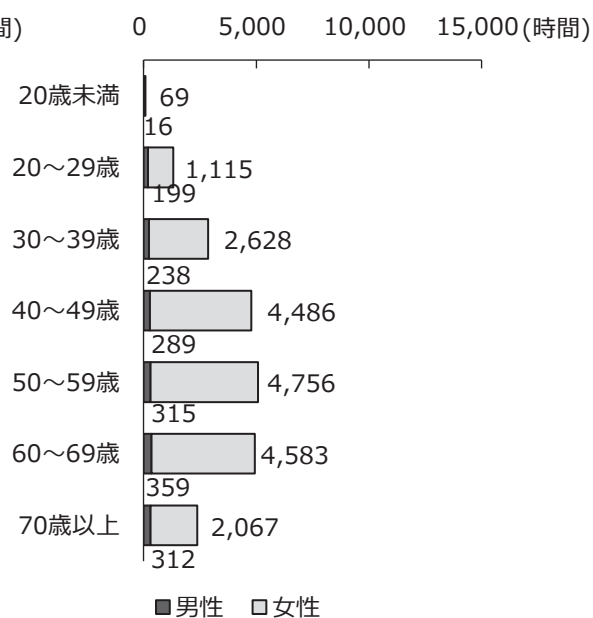
【性年齢別の1週間の勤務時間】



(常勤)

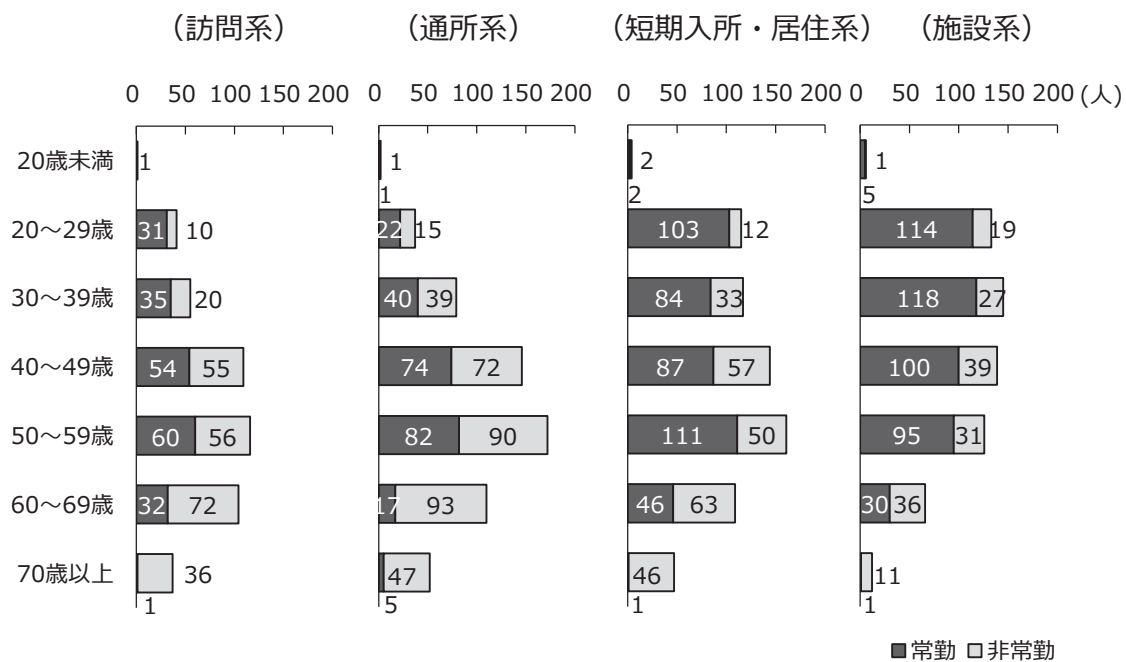


(非常勤)



業種別でみると、訪問系・通所系は40～59歳の非常勤が比較的多く、短期入所・居住系・施設系は常勤職員の割合が高くなっています。

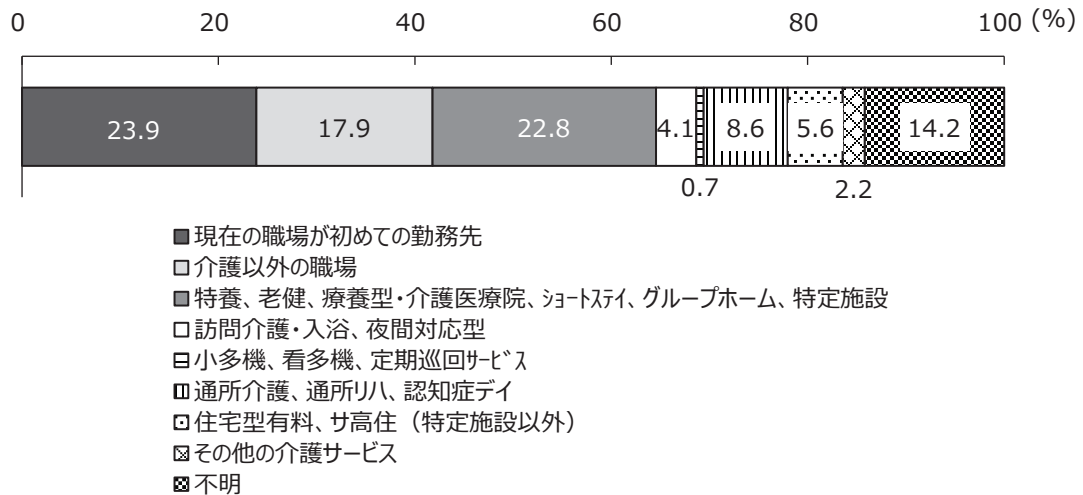
【業種別介護職員数】



(8) 現在の施設等に勤務する直前の職場

現在の職場が1年未満の職員 n=268

「現在の職場が初めての勤務先」が23.9%と最も高く、次いで「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」(22.8%)、「介護以外の職場」(17.9%)の順に高くなっています。



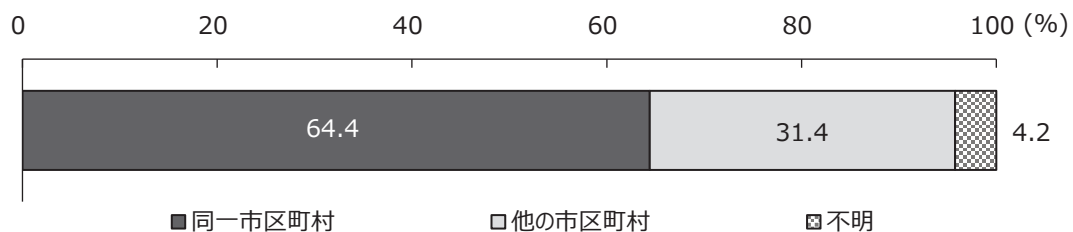
【直前の職場（人数ベース）】

現在の職場が初めて	64人
介護以外の職場	48人
別法人・グループ	91人
同一法人・グループ	20人
不明・無回答	45人

### ①直前の職場（場所）

介護関連の職場から転勤（1年以内） n=118

「同一市区町村」が 64.4%、「他の市区町村」が 31.4%となっています。



### ②直前の職場（法人）

介護関連の職場から転勤（1年以内） n=118

「別法人・グループ」が 77.1%、「同一法人・グループ」が 16.9%となっています。

